

特養等の生活の場、 介護職員における終末期対応

特別養護老人ホーム三陸園
川崎 教 申

看取り介護とは...

医師の診断のもと、近い将来に死に至る事が予見される利用者に対し、最期の場所及び治療などについて本人の意思、ならびに家族の意向を最大限に尊重し、その身体的・精神的苦痛などをできるだけ緩和し、対象者の尊厳に十分配慮しながら終末期の介護を行なうことです。

【三陸園での 看取りケアの重要点】

①、利用者に対する具体的支援

I、身体的支援

I、精神的支援

②、家族に対する支援

- ・希望や心配事に真摯に対応する。
- ・家族関係への支援にも配慮する。
- ・話しやすい環境を作る。
- ・家族の身体的、精神的負担の軽減へ配慮する。



③、看取り後の援助

I、エンゼルケア

I、グリーフケア

I、その他



I、終良のお手伝い



終末期に近いような方々には『良い人生の終わり方』を視野に入れケアをする必要があると思います。

終良の為には〇〇〇が大切！

I、食事提供。

I、コミュニケーション(家族・職員の関わり)。

I、医療行為。

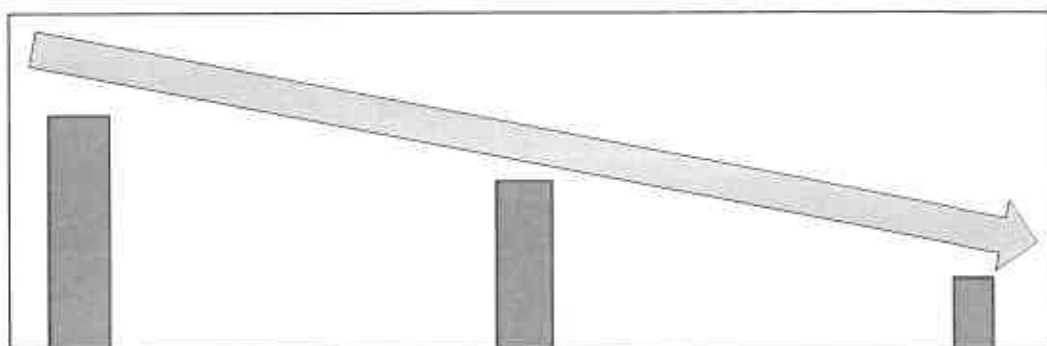
I、食事提供

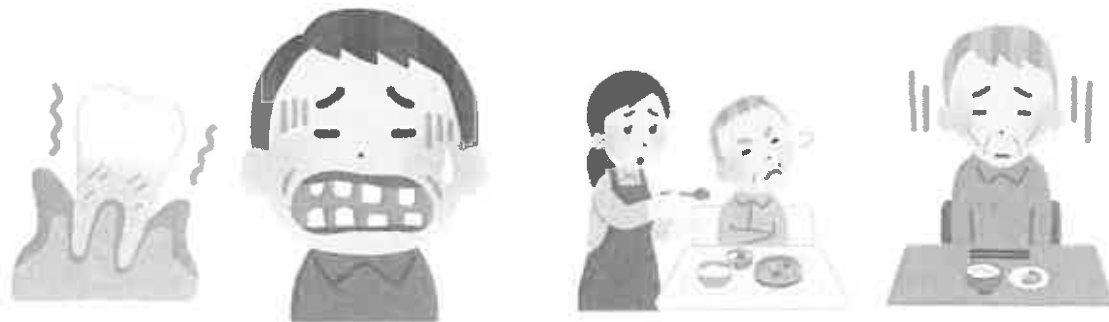


若

老

食
事
量





口腔内の異常

本人の意思

日々の状態観察

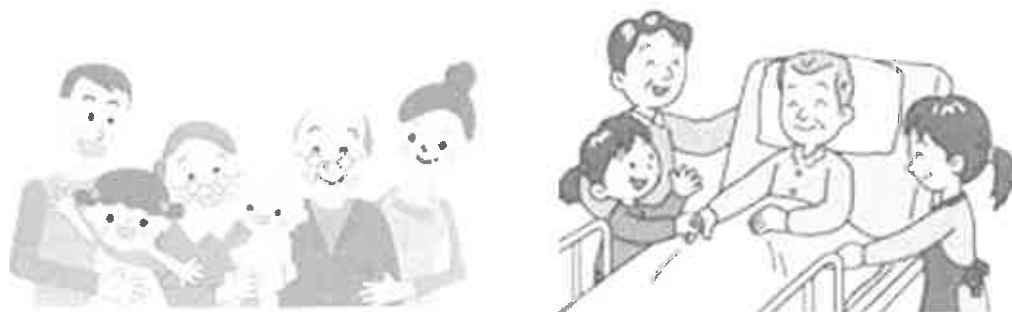
消化器の異常

痛み・違和感



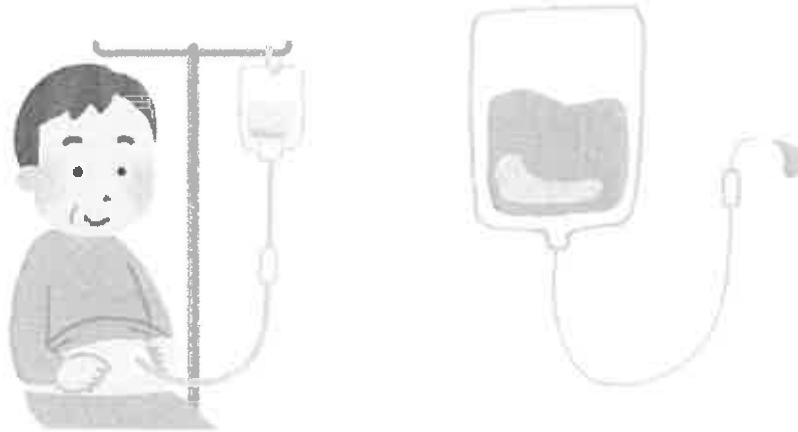
I、コミュニケーション(家族・職員の関わり)

- ・可能な限り、御家族に付き添って頂く。
- ・ご家族が傍に居る温かい雰囲気を感じているので、普段通りの生活を営むことや声掛けが大切になります。
- ・家族と共に同じ時間を過して頂く。



I、医療行為。

点滴による強制的な水分補給は体がむくんだり、痰が多くなって、かえって苦しい状態になることがあります。



昔は日常生活の中に、自然な形で死がありました。隠されるものでもなく、誰もが家族の中で亡くなっていった時代がありました。

その時の時代のよ
うに家族に囲まれ、
静かに・安らかに最
期を迎えるという事
が本来の自然な形
だと思います。



『死』に慣れる



終良のパズル

